

会派代表質問

「会派名」憲政会

「氏名」片岡勝則

問「市長選挙への決意について

う 答「岩国丸」の先頭に立ち、その舵取りを担

市長就任以来、今日に至るまで、山積する課題
へ職員と共に知り、来たきながら、幾多の
解と支援をいたした。今年あったように思
「決断」をす。終えようとして、新しい
4期目の任期を終えようとして、新しい
いま、づくりに、い、い、い、い、い、い、い、い
し、く、く、く、く、く、く、く、く、く、く
念、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の
割、を、を、を、を、を、を、を、を、を、を
「市民福祉の向上」「引き続きの取り組み」
き、たい、い、と、思、う、の、向、上、の、た、め、新、た、な、挑、戦、を、し、て、い

会派代表質問
「会派名」
「氏名」
藤重建治

問 次世代に引き継ぐまちづくりについて

今年3月、第3次岩国市総合計画が策定されたところだが、市長は今定例会で来年の市長選挙へのチャレンジを力強く表明された。4期の向上、市長は「夢をかたちにする」として市民福祉の向上に取組んでこられたが、今後、次世代に引き継ぐまちづくりに取り組んでいくの取組を伺う。

答 全力で取り組みたい

「岩国市総合計画」や「岩国市まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも基づき、市民の皆さんと、ともに歩み、後にも「国や県の事業を積極的に活用し、基本問題への対応、中心市街地及び中山間地域の活性化、空港等を活用した企業誘致、人口減少の抑制等に全力で取り組みたい」として、

会派代表質問
氏名 桑田勝弘
氏名 桑田勝弘

問 将来を見据えた財産管理について

未利用財産の活用や新設の複合施設には、
複合化前後のコスト比較や分析が不可欠。また、
財務書類を活用した見解を問う。この一セグメン
ト分析に活用した見解を問う。この活用を指

す 答 財産管理に財務書類のデータ活用を指

本年8月に未利用財産の活用につき一層の推
進を図るため、「策定した。将来負担を平準化し、総
基本方針を策定し、将来負担を平準化し、総
合管理基金による実施を、本市では一部計
画的に公共施設を、共同セグメント分析を、財
務書類の活用も考慮。将来一
ならぬが、膨大な研究やメンテナンスの活用も
なれば、調査、研究やメンテナンスの活用も
じ、知識や経験、蓄積、根拠、基礎、整理、編
成、客観的なデータや根拠、基礎、整理、編
成、活用。き、継続、取り、組んでい

高で検以判牲価れ離実い待権加問
 揚の討上決とをををは績て。の。相
 を防す、はな問踏、増、₅₅₀を民私庫続登
 望災る独、っうま₅₅₀を民私庫続登記
 むにベ自、た。えメ。災改舗属記未
 。つき₅₅₀の教石東、ト害正装にと執
 いた立師巻日早ト害正装にと執
 て、とで指立大震難ら逃る申請手続
 、とで指立大震難ら逃る申請手続
 生厳ハ示大川災のへまやすとい続
 徒しく、生小津波避と公避難緩和要
 自批ド徒学津波避と公避難緩和要
 身判マの校波避と公避難緩和要
 の危しッ行をで難公表所を綱導
 機たプ動め生徒₇₄とれまを綱導
 管。の信拘束訴がの。の報しつ
 理教信拘束訴がの。の報しつ
 意育頼束訴がの。の報しつ
 識現性する審議評こ距しつ
 の場をる審議評こ距しつ

「	「	一
氏	会	般
名	派	質
「	名	問
「	「	
中	市	
村	民	
恒	の	
友	声	
	を	
	き	
	く	
	会	

プ庄や組す 答 て地床ンれ横 (2) (1) 問
 場地区改んる横 お区上現て山御横地
 の区善でま山 りで、象い地区庄山域
 改では向くスン要道の生まはのプ水
 築は現け。ピプ望路が浸し、、年、対備事
 を現たサード整備提出さ、れ住民かから
 検状を対イホ感事業にっついでる。不安の
 討を策ナン持業にっついでる。不安の
 す踏策ナン持業にっついでる。不安の
 るまな。えどを象にっついでる。不安の
 。えどを象にっついでる。不安の
 てを象にっついでる。不安の
 ポお願っ、いいてる。不安の
 ン願っ、いいてる。不安の
 プいいてる。不安の
 のしてはか事業が完了
 増てはか事業が完了
 設い県へと取り完了
 やる。調査取り完了
 ポ。調査取り完了
 ン御査取り完了

一
 般
 質
 問
 氏
 会
 派
 名
 名
 氏
 市
 政
 改
 革
 ク
 ラ
 ブ

一般質問
「会派名」
「公明党議員団」
「氏名」
「中村豊」

問

ば、地域生活支援拠点等の整備を進めることでの活用
の場も広がり、利便性も向上し、サ―ビスの提供
給、相談もしやすくなるかと考え、見解を問

答

に、令和2年度に新設されたたグル―プホ―ム内
たは、病院・年度に新設されたたグル―プホ―ム内
望する場合は、親戚の同居を確保し、入居の体
地域生活支援拠点等における緊急の受け入れ、対
応及び体験の機会、場と市の中心部の施設整備の
で、大なる必要なところと考慮して、心部への設
障害者の生活を支える。サ―ビスを進め、体制
の構築に努めていく。全体で支える。サ―ビスを進め、体制

一般質問
矢野匡亮氏
志政いわくに

問

本市のデジタル化の推進に
よって業務効率・生産
性の向上を図り、行政サービス
の維持と向上を目

指

す取組に、ついで。サ
ービスの維持と向上を
目指す組に、ついで。サ
ービスの維持と向上を

も

いい窓。口の、迷わな
い窓。口の、迷わな
い窓。口の、迷わな

目

指す。具体的には、電
子申請を市民の皆様が
円滑に利用できるように

窓

口の相手数等。また、
今年度も市民の皆様が
決済に对应予定の支払
シタルに、触れ取る機
会を創出し、その価値
を感じて

シ

タルに、触れ取る機
会を創出し、その価値
を感じて

で

きるように、進め、出
し、誰一人取り残さな
い

い

、

一般質問

（氏名）野本真由美 議員 団

問 学校の進捗状況への生理由美

の学校の進捗状況への生理由美

答 学校の進捗状況への生理由美

下の学校について、そ

設置している学校に

計5校あり、小学4校

小学校8校、中学校6

て実証事業を行う。期

日の2か月間、その結

ついでに調査を行う。そ

（その他）の質問。その

行政の事務シンプ

・行政の事務シンプ

・行政の事務シンプ

・行政の事務シンプ

・行政の事務シンプ

・行政の事務シンプ

・行政の事務シンプ

・行政の事務シンプ

・行政の事務シンプ

・行政の事務シンプ

・行政の事務シンプ

・行政の事務シンプ

・行政の事務シンプ

・行政の事務シンプ

・行政の事務シンプ

・行政の事務シンプ

・行政の事務シンプ

・行政の事務シンプ

使	必	理	シ	年	め	氏	マ	た	す	り	答	に	問	一	般
い	要	し	ー	金	に	名	イ	券	な	彫	マ	つ	マ	氏	会
い	で	て	性	、	必	、	ナ	面	ど	り	イ	い	イ	氏	派
た	悪	お	の	健	要	マ	ン	の	の	込	ナ	て	ン	名	名
だ	用	り	高	康	な	イ	バ	偽	特	む	ン	問	ン	「	」
け	は	、	い	診	電	ナ	ー	造	殊	と	バ	う	バ	奥	公
る	不	可	情	断	子	ン	カ	を	加	と	ー	。	ー	江	明
よ	能	チ	報	の	証	バ	ー	困	工	も	カ	カ	カ	徳	党
う	と	ッ	は	結	明	ー	ド	難	を	に	ド	ド	ド	成	議
広	報	さ	プ	各	果	等	の	一	し	し	複	は	は	」	員
、	れ	の	政	医	が	他	一	一	て	て	雑	、	、	の	団
周	知	を	行	機	療	入	オ	チ	い	り	お	な	文	全	性
知	を	る	に	関	情	っ	ン	ッ	る	。	り	彩	字	性	と
行	っ	て	は	ご	報	て	ラ	プ	。	顔	写	タ	ザ	性	の
っ	て	心	安	証	重	、	が	手	続	、	真	ン	ン	性	周
い	く	し	て	番	号	に	バ	イ	税	の	を	を	を	知	知
。	。	。	。	が	管	バ	や	た	、	、	め	施	よ		

一 環 と の 向 い に 命 岩 清 す 問
 緒 境 考 で け る 産 の 国 流 る 本
 に 保 え は て ° 業 水 市 錦 ° 郷
 取 全 る な 強 住 廃 だ の 川 世 産
 り に の い 引 民 棄 あ 水 な 界 業
 組 向 で ° に の 物 る ° の し 産 廃
 ん け は 本 申 意 最 ° そ 水 て 登 物 棄
 で て な く 町 を や 処 の 源 は 録 最
 い 岩 、 ・ 進 理 分 錦 川 な り 目 終
 た 市 岩 美 め 解 を が 建 支 て いた
 だ 全 国 和 る 業 得 な 設 流 い と い
 き 体 市 町 周 者 を い ま れ 郷 錦 思
 た の 民 周 者 を い ま れ 郷 錦 思
 い ° 事 の 辺 を い ま れ 郷 錦 思
 ° 案 健 だ 信 ま れ 郷 錦 思
 だ 康 け 頼 ま れ 郷 錦 思
 と と の 問 き 建 と 源 市 だ 、 、
 掬 錦 題 る 設 し 流 民 の 、 、
 え 川 題 る 設 し 流 民 の 、 、
 、 の だ も に て 地 の 、 、

「	「	一
氏	会	般
	派	質
名	名	問
」	」	
広	市	
中	民	
英	ク	
明	ラ	
	ブ	
	・	
	草	
	の	
	根	

いほる^答可少保的尊がいの市さ問
 てか。個人なくにもする者に法第13条、
 質に除外情報制度を設けるべき。個人に
 問。活申請は、他自治体前を調査・研究す
 。の請は、他自治体前を調査・研究する
 地は、他自治体前を調査・研究する
 域、他自治体前を調査・研究する
 移、他自治体前を調査・研究する
 行、自治体前を調査・研究する
 、自治体前を調査・研究する
 駅、自治体前を調査・研究する
 前、自治体前を調査・研究する
 に、自治体前を調査・研究する
 ぎ、自治体前を調査・研究する
 わ、自治体前を調査・研究する
 い、自治体前を調査・研究する
 施、自治体前を調査・研究する
 設、自治体前を調査・研究する
 に、自治体前を調査・研究する
 つ。自治体前を調査・研究する

問
 氏
 会
 派
 名
 名
 長
 岡
 辰
 久
 一
 般
 質
 問
 日
 本
 共
 産
 党
 市
 議
 団

一般質問
 一 会派名
 氏名
 姫野敦子
 リベラル岩国

問 市が行う移動販売車に対する助成事業は中山
 間地域での買い物支障が中心と聞く。高齢化など
 による買い物難な方への対策は。高
 答 玖北地区などの高齢集落への買物支障を
 50%以上の移動販売車への経費の2分の1を
 っている。移動販売車への経費の2分の1を
 0万円を限度とし、燃料費10
 び修理費等の2分の1を補助し、燃
 助を行つていゝ。新たな事業者の参入、開拓が課
 す。と思う。で新たな事業者の参入、開拓が課
 題。 。 。

問 小規模・高齢化集落以外も、今後は事業の
 拡大も考え、質問、活用について
 〃 市の財産の活用について
 〃 扶養照会についで

切止た	答	て	問	調	答	し	問	程	土	間	答	問	一 般 質 問 〱 〱 石 本 崇 わ く に	
にめ、	商	。	市	和	重	た	福	調	木	の	市	美		氏
対、	国		民	に	要	こ	島	整	業	継	長	和		会
応民	の		の	関	な	と	市	を	者	続	と	町		派
し間	調		生	す	テ	に	長	行	と	と	事	の		名
て、	査		命	る	ー	つ	が	う	の	緊	業	上		〱
い議	費		を	条	マ	い	ー	と	協	急	者	海		志
く会	計		守	例	と	て	ノ	の	力	時	が	電		政
。行	上		る	の	認	。	ー	回	体	に	協	力		い
政議	や		シ	制	識		モ	答	制	迅	議	メ		わ
が会	ル		エ	定	し		ア	が	の	速	を	ガ	く	
緊の	ム		ル	に	て		メ	あ	構	に	行	ソ	に	
密意	の		タ	取	お		ガ	っ	築	対	い	ー	〱	
な見	視		ー	り	り		ソ	た	や	応	、	ラ	〱	
連書	察		の	組	、		ー	。	施	す	水	ー	に	
携を	を		整	ん	地		ラ		設	る	質	に	つ	
の重	予		備	で	域		ー		内	た	検	つ	い	
下に	定		に	い	環		を		見	め	査	の	て	
適受	け		つ	る	境		を		学	の	の	1	。	
けま			い	。	と		宣		の	地	元	年		

一般質問
藤本 泰也
志政 いわくに
氏名

問 以下地域は、周東町に水道普及率は20%

止をかけるため、週末にも周東町に水道を整備して

い、だき、たい。ため、に、も、周東町に水道を整備して

83 答 令和5年3月31日現在、市全体との普及率は、

り、本地区におき、水道の未普及率は、

な、限、り、早、い、き、た、い、と、考、え、て、い、る、。、事、業、実、施、に、取

一般質問
〔会派名〕
〔憲政会
瀬村尚
央〕

問

答

問

答

て果二てり 答 問 なる機 会 答 て日 問
い 的 一 ぼ 、 市 ズ 補 る 会 話 イ ど 常 若
く な ズ し 使 の に 助 と を を ベ とう 若 者
。 支 を しい 補 沿 金 考 さ し ト 捉 な を 中
援 的 な に 助 っ に え ら た 関係 米 心
が 確 ど の い に 金 につ メ し いて 増 、 み いて 日 米 中
可 に 捉 声 や つ ニ ュ 市 。 や 共 で る か 。 流 交 流 心
能 捉 声 や つ ニ ュ 市 。 や 共 で る か 。 流 交 流 心
と え が 、 あ も て 一 民 に と っ て 使 ない や す く 、 二
な る よ り こ と 臨 付 意 っ て 使 ない や す く 、 二
よ り こ と 臨 付 意 っ て 使 ない や す く 、 二
う 使 と 臨 付 意 っ て 使 ない や す く 、 二
に い を 機 に 様 き 使 ない や す く 、 二
調 や 承 応 様 き 使 ない や す く 、 二
査 す 知 変 々 な い の か 。 二
・ く し な 対 件 が あ
研 、 て い る し
究 よ り 効 。 し

一般質問
「会派名」
「志政いわくに
川口隆之

問 岩国市における安心・安全なまちづくりにつ

い 岩国市において。

答 本市における近年、本市でも広域強盗事件が減少傾向に

あ るが、近年、本市でも広域強盗事件が減少傾向に

て おり、近年、本市でも広域強盗事件が減少傾向に

き 課題の、防犯対策は引き続き取り組んでいくべ

問 物価の高騰への対策として、食料品等価格

答 本市において、食料品等価格

高騰重点支援地方交付金を活用し、市民や事

業者を支援する施策の動きが地方でもあるが、

問 積極財政政策の動きが地方でもあるが、

市 市長会内での財政委員会に所属しており、

答 全国市長会内での財政委員会に所属しており、

一 つの意見として、伝えたい。

一般質問
氏名
重岡邦昭
市民クラブ・草の根

問

を。受け、関東原発建設予定地による振興策の要望
設を提示し、先だっ建設適地であるか調査をす
る。そこで、中間貯蔵施設建設調査をする
市の基本姿勢を確かめる。また、調査に
貯蔵施設等どの視察を計画されたか、
え。現時点ではどうか。燃料サイクル全
答。中間貯蔵施設は、原子燃料サイクル全
や。中間貯蔵施設の必要性が説明も
なく、市民の理解を深める必要があ
識を求めている。本市は中間貯蔵施設
意識を求められ、電力会社との動向
を注視し、必要に応じて説明を求め
員提案の視察の検討も行うなど、適
てい。く。の視察の検討も行うなど、

一般質問
（会派名）
（氏名）
憲政会
武田伊佐雄

問 斜地等土砂災害対策に
ついて、被災地崩壊対策
として、急傾斜地崩壊
対策事業は、市条例
で定められている状況に
ありながら、受益者に
求め、近隣の自治体や
本市条例で定める観
念を、併前の状況を鑑
み、市民の生命を守る
観点の、見直しが必要
だと考え、市の見解を
問う。答 急傾斜地の崩
落対策事業の分担金に
ついて、いはいは、当
事者にとっ、負担割合
が、曖昧ないところ、
な課題があること、今
後、協議をし、分担
金の在り方などにつ
いて、関係部署と協
議を、し、て

一般質問
 〔会派名〕
 〔志政〕
 丸茂郁生
 くに

問

答

こ老ま
 と朽え
 を化保
 強も育
 く著園
 求しと
 めいひ
 るたが
 。めし
 、保
 一育
 日園
 もは
 早耐
 い震
 整備
 をが
 進低
 めく
 る、
 き

約40年経過し、保育園は福祉会館1階への整備も、
 最大規模の保育園である。増加の理由も、市内でも、
 建築から約50年経過している。増加の理由も、市内でも、
 は、民間の柔軟な運営体制を、活用で
 き、市民の要望に応じて、
 る予定である。また、他方、両市とも耐震性が低く、
 駐車場の不足、おりに、老朽化が著しく、
 い、安・安全な保育環境整備に努める。一日も早い

一般質問
氏名
小川安士
日本共産党市議団

問 J R 美 祢 線 は 復 旧 す る の か 。

答 6 月 豪 雨 後 、 全 線 不 通 で 復 旧 の 見 通 し は 立 っ

て い な い と ホ ー ム ペ ー ジ に 記 載 さ れ て い る 。

問 諸 外 国 の 線 路 は ほ と ん ど が 公 有 だ が 、 日 本 は

民 間 所 有 で 復 旧 が 遅 れ る の で は な い か 。

線 路 を 国 道 や 県 道 に し て 管 理 し 、 高 い 利 便 性 を

確 保 す る よ う な 求 め る べ き で は な い か 。

答 そ の よ う な 例 も あ る べ き で は な い か 。

離 方 式 に す る の は 難 し い の で は な い か 。

問 公 益 事 業 な の に は 利 便 性 に 係 る 費 用 を 削 っ て 、

株 式 配 当 が 多 い の は 、 国 鉄 資 産 を 受 け 継 ぐ 事 業 、

と し て 違 和 感 が あ る 。

元 性 が 、 他 の 運 輸 業 よ り 高 い 利 益 還 元 管 理 や 利

便 性 上 の 強 化 を 求 め る べ き だ 。

答 様 々 な 機 会 に 要 望 し て い る 。

向調常のか
き整に他ら
にが効の速
設整果地や
置え的域か
をばだにに
行、と関捕
っ速思し獲
てやっつて
いかても対
くにい大応
。対るの捕
。対るの捕
しで、おい
い地域の設
き域の設置
、協力は非
随時と前

答

て、と本
業、し市
山間地域の
置要望が全
る。特に被
住民へ威嚇
頻繁な出没
今年にか
問中山間地
域における
鳥獣被害、
特に去年か
ら

問

「	「	一
氏	会	般
	派	質
名	名	問
」	」	
広	市	
中	政	
信	改	
夫	革	
	ク	
	ラ	
	ブ	